



『平成28年熊本地震』における 熊本大学附属図書館の 対応について

平成29年9月1日（金）

国立大学法人熊本大学
教育研究支援部 図書館課 副課長
濱崎 千雅

平成29年9月1日

熊本大学附属図書館

2

0. 熊本大学概要



■熊本大学

- 熊本市中央区に3つのキャンパスを持つ
- 7学部/10大学院をもつ総合大学
- 約11,000名の学部生と大学院生、
約2,600名の教職員が在籍

平成29年9月1日

熊本大学附属図書館

3

本日の主な内容

1. 熊本大学附属図書館概要
2. 『平成28年熊本地震』と図書館
3. 復旧
地震後の復旧作業
4. 今後の対策
 - I.地震を経験した今、災害への備え
 - II.記録～未来へ繋ぐ

平成29年9月1日

熊本大学附属図書館

2

1. 熊本大学附属図書館概要①



■中央館（8,884㎡ 695席）

- 黒髪キャンパスに所在
- 1973年 竣工（地上2階・地下2階）
- 2006年 増築 南棟-放送大学と合築
（地上1階 2-4階部分は放送大学・地下2階）
- 2013年 改修工事<耐震補強>
- 入館者数 1,208人/日（28年度平均）

平成29年9月1日

熊本大学附属図書館

4

1. 熊本大学附属図書館概要②

■医学系分館 (2,440㎡ 226席)

- 本荘、九品寺キャンパスに所在
医学部、大学病院地区
- 2009年 竣工 医学教育図書棟
(地上1-2階 3-6階部分は医学部・地下1階)



平成29年9月1日

熊本大学附属図書館

5

2. 『平成28年熊本地震』 (と図書館) ①

- 2016年4月14日 (木) **前震**
21:26 M6.5 最大震度7

「誰も予想していなかった本震」



◇前震から28時間後◇

- 2016年4月16日 (土) **本震**
01:25 M7.3 最大震度7

平成29年9月1日

熊本大学附属図書館

7

1. 熊本大学附属図書館概要③

■薬学部分館 (654㎡ 58席)

- 大江キャンパスに所在
薬学部
- 1988年3月 竣工 薬学部分館
(地上2階 3階部分は薬学部共用スペース)



平成29年9月1日

熊本大学附属図書館

6

2. 『平成28年熊本地震』 と図書館②

- (中央館) 耐震工事は2013年に完了
- 耐震・免震対策では
「震度5クラスの地震に耐え、構造体は
破損が生じないように耐震・免震機能
を有すること」
- **震度7クラス**は想定外

平成29年9月1日

熊本大学附属図書館

8

2.『平成28年熊本地震』と図書館③

<附属図書館>

- 4月14日 前震（1回目）
ブックキーパー作動！
熊本市中央区 震度5強

震度5クラスの地震に耐え・・・
落下図書はあったものの
(なんとかOK♪)



平成29年9月1日

熊本大学附属図書館

9

2.『平成28年熊本地震』と図書館⑤

- まさか熊本で地震被害!!!
根拠のない安心感【熊本は大丈夫 ♡】
- 歴史を紐とけば、江戸・明治時代も
大きな災害（地震）が発生している
熊本大学附属図書館所蔵（寄託資料）
『永青文庫』資料に、当時の状況が残されている

平成29年9月1日

熊本大学附属図書館

11

2.『平成28年熊本地震』と図書館④

- 前震から28時間後の本震
熊本市中央区では 震度6強
- 本震後も余震が続く
震度5弱以上 24回!
震度1以上 3,994回!! 2016.8月末まで

想定外...



(気象庁http://www.data.jma.go.jp/svd/eceiv/data/2016_04_14_kumamoto/index.html#jishinkatsudo)

平成29年9月1日

熊本大学附属図書館

10

3. 復旧 地震後の復旧作業

頻繁に続く余震に注意しつつ
地道な作業……の日々



3. 復旧

初期対応 前震発生後、何をしたか①

4月14日（木）

中央館	開館中
医学系分館	閉館
薬学部分館	閉館

■中央館のみ開館中

外部委託スタッフ2名により業務

■医・薬分館は閉館後の被災

幸いなことに“24時間利用サービス”の利用者も入館していなかった

平成29年9月1日

熊本大学附属図書館

13

3. 復旧

初期対応 前震発生後、何をしたか③

21:50

- 利用者の帰宅を促し、利用者玄関施錠
<利用者は落ち着いて行動した>
- 残っている利用者がないか再確認
<職員・中央館待機>

22:00過ぎ

- 部課長/館長へ状況報告（電話）
- 緊急連絡網による職員安否確認

<前震直後～30分ほどは電話が通じなかった>

- 館内設備エラー（ポンプ室等）解除
- 都市ガスは翌朝業者へ連絡

平成29年9月1日

熊本大学附属図書館

15

3. 復旧

初期対応 前震発生後、何をしたか②

21:26 ← 前震発生 閉館30分前

- 約100名の利用者が館内に！
- 机の下で安全を確保する姿みられた

21:30 ← 「揺れ」がおさまった後

- 館内を巡回し、書架から離れて自分の安全を確保するように伝える
- 2回目の巡回で利用者を館外へ誘導

21:40頃

- 職員3名が中央館へ到着
- 委託スタッフと協力し、館内状況確認
- 設備エラーへの対応
(地震の衝撃で開いた防火扉を戻す等)

平成29年9月1日

熊本大学附属図書館

14

3. 復旧

初期対応 前震発生後、何をしたか④

<都市ガスを除くライフラインに問題なし>

22:30

- 職員数名の安否が不明のまま状況報告

23:00

- 中央館施錠
- 委託業者と情報共有

21:00～24:00
震度1以上の地震観測
120回！

内訳	震度7	1回
	震度6弱	1回
	震度5弱	2回
	震度4	12回
	震度3	21回
	震度1・2	83回

平成29年9月1日

熊本大学附属図書館

16

3. 復旧

4/15 (金) 前震の翌日①

出勤前 6:30

- 職員全員の無事を確認～電話報告
- 道路状況は不明であるが、公共交通機関運行 (JRは不通)

4/15
震度1以上の地震観測
224回

出勤後 8:30

- 事務室にホワイトボード設置 <情報共有>
- 地震による大学の休講決定に伴い、図書館も全館臨時閉館とする

平成29年9月1日

熊本大学附属図書館

17

3. 復旧

4/16 (土) 未明 本震発生

「前震」を上回る激震「本震」直後に
図書館職員としてなにをしたか？

- 残念ながら、ほとんどの職員がなににもできない状況下に。

自分と家族の身を守る！

- 停電 1～2時間ほどで復旧
- 避難所へ向かうたくさんの混乱する声

平成29年9月1日

熊本大学附属図書館

19

3. 復旧

4/15 (金) 前震の翌日②

(この時点では「本震」発生の可能性を誰も考えていない)

- 余震に備えて、4/15 (金) も含む4/16 (土)、4/17 (日) の3日間を全館臨時閉館と決定
- 落下図書 約1万冊の再配架作業を完了
- 図書は書棚奥に入れ込む
- 被害状況記録のため、写真収集を指示

平成29年9月1日

熊本大学附属図書館

18

3. 復旧

4/16 (土) 本震発生後①

- 出勤前、本震後の職員安否確認 (全員の状況確認開始)

4/16
震度1以上の地震観測
1,223回

- 職員数名が出勤

瓦の落下/ブロック倒壊/道路のひび割れ・陥没/国道3号線通行止め！/etc.

平成29年9月1日

熊本大学附属図書館

20

3. 復旧

4/16 (土) 本震発生後②

■職員数名が館内へ

国・重要文化財を含む貴重資料の状況
確認 ~ 関係機関への連絡

■状況確認

- ・目視による外観は異常なし
- ・大量の資料落下
- ・書架のゆがみを心配
- ・無数のクラック



平成29年9月1日

熊本大学附属図書館

3. 復旧

4/18 (月) 以降②

- 壁の亀裂・剥落
- 資料の落下・再配架時期
- 水損（汚損）図書
- 開架書架の歪み・倒壊
- 電動集密書架の動作異常
- 情報の取り扱い（被害写真の流出厳禁）

平成29年9月1日

熊本大学附属図書館

23

3. 復旧

4/18 (月) 以降①

余震に注意しながら・・・

ひたすらひたすら、作業の日々

- 全館臨時閉館を「当面の間」へ延長
- 館内再点検・施設/備品被害調査
- 全学会議における指示に基づき、図書館長をリーダーとする**対策チーム**を設置
- 連日ミーティングによる情報共有
- 東北大学復旧の報告書を再度読み込む！

平成29年9月1日

熊本大学附属図書館

22

3. 復旧

4/18 (月) 以降③

余震累計

4.18 (月)	復旧作業開始 床への平積み 大学図書館支援の輪が始まる 被災地支援としての文献複写サービス無料提供を含む	2,156回
4.19 (火)	図書館対策チーム立ち上げ/授業再開「5/9」と発表	2,326回
4.21 (木)	平積み図書を請求記号のグループ分け	2,564回
4.27 (水)	ライフライン 都市ガス復旧 中央館サービス再開に向け、大学執行部と打ち合わせ	2,907回

平成29年9月1日

熊本大学附属図書館

24

3. 復旧
4/18 (月) 以降④

余震累計


4.28 (木)	図書館利用再開への広報開始	2,959回
5.2 (月)	1階ラーニングcommonsを学修支援のため部分開館開始 <学生限定> 開館時間 10:00-18:00 (土日12:00-18:00) * 医学系分館 倒壊書架撤去作業	3,093回
5.9 (月)	授業再開 開館時間延長 8:40-18:00 (土日12:00-18:00) * 薬学部分館 利用再開<部分開館>	3,297回
5.10 (火)	2階閲覧室利用再開 * 医学系分館 利用再開<部分開館>	3,312回

平成29年9月1日 熊本大学附属図書館 25

4. 今後の対策

I. 地震を経験した今、災害への備え

II. 記録～未来へ繋ぐ


平成29年9月1日 熊本大学附属図書館 26

3. 復旧
4/18 (月) 以降⑤

余震累計

5.23 (月)	地下書庫の利用再開	3,494回
6.1 (水)	通常開館時間へ 開館時間 8:40-22:00 (土日12:00-18:00)	3,559回
6.20 (月)	* 医学系分館 通常開館時間へ 開館時間 9:00-21:00 (土日12:00-18:00)	3,717回
7.19 (火)	* 薬学部分館 書庫利用再開	3,851回
9.27 (火)	* 医学系分館 1階雑誌書架・利用再開	4,061回
2017 4.3 (月)	* 医学系分館 地下書庫・利用再開	4,285回

平成29年9月1日 熊本大学附属図書館 26

4. 今後の対策 I. 災害への備え

余震に備えて 安全第一！①

ヘルメットをかぶろう





靴ずかしがらないで！

本震直後の2階の様子です。
棚板が吹き飛ばされている場所もありました。
本は凶器となります。
ヘルメットの着用をお願いします。

平成29年9月1日 熊本大学附属図書館 28

4. 今後の対策 I. 災害への備え

余震に備えて 安全第一！②

■ ツイッターでつぶやく

熊本大学附属図書館 @umlib01

【ヘルメット着用キャンペーン】医分館書架は震災対応でビニールひもを結わえています。少々図書がとりにくいですが、ご協力ください。なお今回新たにスターウォーズっぽい新ヘルメットを購入しました！落ってお試し下さい。(着用モデル：くまぼん)



折りたたみ式ヘルメット♪



50

39

29

平成29年9月1日

熊本大学附属図書館

30

4. 今後の対策 I. 災害への備え

余震に備えて 安全第一！④

■ 保安灯を全館へ設置 28年度学長裁量経費

中央館 19箇所

医学系分館 10箇所

薬学部分館 9箇所



- ①周囲が暗くなると自動点灯
- ②停電と同時に自動点灯（約30分間）
- ③コンセントからはずし携帯電灯

平成29年9月1日

熊本大学附属図書館

31

4. 今後の対策 I. 災害への備え

余震に備えて 安全第一！③

- 地下の書庫利用は従来より申請制
(地下2階は、スマホの電波が届かない)
- 書庫利用証に笛をつける！



平成29年9月1日

熊本大学附属図書館

30

4. 今後の対策 I. 災害への備え

余震に備えて 安全第一！⑤

保安灯・非常用照明等 医学系分館書庫の掲示例

①地下書庫 非常口・非常用照明・コンセント配置図(129.5.18)



31

32

4. 今後の対策 II.記録～未来へ繋ぐ 「熊本地震ライブラリ」のあゆみ

- 2016年
 - 6月21日 附属図書館震災記録ワーキング発足
 - 7月14日 (前震発生から3ヶ月) 資料収集開始
 - 10月14日 (前震発生から半年)
- 「熊本地震ライブラリ」を公開
 - 館内展示 65点
 - web版(リンク集) 50機関
- 2017年
 - 4月14日 (前震発生から1年)
 - 館内展示 200点
 - web版(リンク集) 120機関

平成29年9月1日

熊本大学附属図書館

33

4. 今後の対策 II.記録～未来へ繋ぐ 「熊本地震ライブラリ」公開!

35

4. 今後の対策 II.記録～未来へ繋ぐ 「熊本地震ライブラリ」資料収集

34

4. 今後の対策 II.記録～未来へ繋ぐ 「熊本地震ライブラリ」展示資料①

『熊本地震体験記(抜粋)』 作: 岩間美咲希さん(教育学部)
YouTubeにて公開中⇒「熊本地震体験記 youtube」で検索!

熊本県内の学生有志で
行った募金活動の様子

36

4. 今後の対策 II.記録～未来へ繋ぐ

「熊本地震ライブラリ」展示資料②

学生の漫画作品
「熊本地震体験記」

学生から
寄せられた写真

県内各地の
広報誌など・・・

4. 今後の対策 II.記録～未来へ繋ぐ

28年度イベント開催 貴重資料展 & 学園祭

第32回附属図書館貴重資料展
を開催

11月に紫熊祭(しぐまさい)も開催
“熊本を盛り上げ、復興に向けて
突き進んでいこう!”

余震が続く中、
展示資料の安全
は？

不安はありまし
たが・・・
期間中、
多くの人でにぎ
わいました！

紫熊祭では、図書館前に
震災資料収集箱を設置

4. 今後の対策 II.記録～未来へ繋ぐ

今後も充実を目指します！

Kumamoto University
熊本大学附属図書館

熊本地震ライブラリ

「平成28年熊本地震」により被災された皆様にご見舞い申し上げますとともに、1日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。
熊本大学附属図書館では、平成28年4月14日(水)以降に発生しました一連の「平成28年熊本地震」に関連した各種資料を収集、保存し、公開すること
本ライブラリは、この趣旨にご賛同いただいた皆さまからご提供の情報・資料により作成されております。
平成28年7月14日付にて、熊本大学附属図書館ホームページに「平成28年熊本地震」に関する資料のご提供について(お願ひ)を掲載。現在までに
は、非常に限られた内容の提供となっております。
今後一層の内容の充実を図るためには、皆さまからの情報のご提供が、必要です。
引き続き、「平成28年熊本地震」に関する情報のご提供を、お願ひ申し上げます。【平成28年熊本地震】に関する資料のご提供について(お願ひ)】

Google カスタム検索

大学等教育研究の機関

熊本県

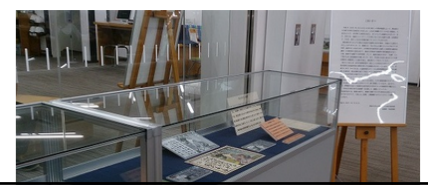
- 熊本大学
以下、区分毎に50音順にて掲載します。
- 九州ルーテル学院大学

4. 今後の対策 II.記録～未来へ繋ぐ

学生主体の企画展 学内連携

◆◇「平成28年熊本地震」後に設置された
『資料保全継承会議』～成果の発信へ◇◇

😊学生が主役になれる企画展😊
— 明治時代の商売 —
内容：Ⅰ. 広告媒体-引札(ひきふた) Ⅱ. 経営のあり方-給与・ツケ払い
期間：7月21日(金)～10月31日(火)
※最終日は15時までです
場所：中央館1階 ラーニングコモンズ



「熊本大学デジタルアーカイブ」

平成29年度 熊本大学デジタルアーカイブ 活動開始

- ◆ 熊本県のアーカイブシステムを活用し、学内外の熊本地震に関する資料、写真を収集、データ加工、登録を行う。
- ◆ 他大学と連携し、情報発信

- 熊本大学熊本地震デジタルアーカイブ企画会議
- 熊本大学熊本地震デジタルアーカイブ検討ワーキンググループ



41

【参考資料】

- 気象庁地震火山部「平成28年（2016年）熊本地震」の震度1以上の最大震度別地震回数表
http://www.data.jma.go.jp/svd/eqev/data/2016_04_14_kumamoto/kumamoto_over1.pdf（参照:2017.8.22）

（以下、熊本大学附属図書館・関係）

- 澤田敬『平成28年熊本地震』業務記録』熊本大学附属図書館、2017.3. <http://hdl.handle.net/2298/36463>（参照:2017.7.27）
- 川内野祐子「熊本地震からの図書館復旧」『Better Storage』Vol.206, p1-4, 2017.7
- 笠彩子ほか「地震から得た学び：震災時に取るべき図書館職員のアクションとは何か」『PASSION』Vol.38, p.12-15, 2016.11. <http://hdl.handle.net/2298/35801>（参照:2017.7.27）

平成29年9月1日

熊本大学附属図書館

43

【PR】第33回貴重資料展

『近世熊本城の被災と修復』 11月3-5日

同時開催・公開講演会 * 本学所蔵の貴重資料を一般へ公開する展覧会です。

「細川忠利の領国支配と熊本城」稲葉継陽 熊本大学永青文庫研究センター長/教授



42

ご清聴ありがとうございました



復興の意気や溢るる
Full of Kumamoto University Spirit
熊本大学
（五高寮東より）

熊本大学附属図書館